

春の火災予防運動 大規模な地震を想定した防災訓練

4月2日、春の火災予防運動（4月2日～8日）の一環として仙北市役所角館庁舎で防災訓練が実施され、地域住民や北部地域自主防災会、消防団など関係者約150人が参加しました。



逃げ遅れた人の救助に向かうレスキュー隊

乾燥注意報が発令される中、直下型地震が発生。角館町地域で震度6弱の強い揺れを観測し、角館庁舎1階より火災が発生したという想定で行われた訓練では、「119番」通報や自主防災会によるバケツリレー、消防車による駆け付け放水が行われたほか、市役所職員による来客者の避難誘導やけが人の搬送、消防署員による逃げ遅れ者の救出活動など本格的な訓練が行われました。

また、防災訓練前には、AED（自動体外式除細動器）による応急手当や、救急救命士による救命活動など、応急手当・心肺蘇生の実演が行われました。



職員が応急手当する中、救急救命士が駆け付ける

スロートゥリズムでちいき生き活き 秋田・岩手観光フォーラム

3月29日、秋田・岩手観光フォーラム「スロートゥリズムでちいき生き活き」が、西木温泉ふれあいプラザクリオンを会場に開催され、約130人が参加しました。

これは、国土交通省が観光地域づくりを後押しする「観光地域づくり実践プラン」に仙北市が選定され、その一環として行われたもので、市や北秋田市、雫石町などで組織する秋田岩手広域地域連携観光交流推進協議会が主催したものです。

当日は、岩手大学助教授井良沢道也氏が「観光地の安全対策について」という演題で講演したほか、西木町出身の作家、西木正明氏が「私からみたスロートゥリズム」という演題で、基調講演を行いました。



貴重な体験談や、意見を交したパネラーのみなさん



また、西木正明氏をコーディネーターに「広域観光と農村体験」のテーマでパネルディスカッションが行われました。パネラーには、市内や阿仁地区、雫石町でグリーンツーリズムなどに携わっている関係者5人が参加し、それぞれが体験してきたことや今後の取り組みなどについて、意見が交わされました。

最後に、コーディネーターを務めた西木氏からは「ディスカッションを聞くと、新聞やテレビなどのマスコミが報道することの無いお話を聞かせていただいた。日本の農業の危機だとか、農村の過疎化だとか、そのような問題に対する答えが出てくるのではないかと。この地域でこのような活動を広めていただきたい」と、感想が述べられました。